

造影MR検査を受けられる

様へ

■ 造影剤とは



病気の状態を鮮明に映し出すためのお薬です。

より正確な診断と最良の治療方針を立てるために必要だと判断された場合に造影剤が用いられませんが、お薬ですので副作用が起きる可能性もあります。

別紙の問診・同意の書類を読み、必要事項に記載して、検査内容のご確認と検査に対するご理解をお願い致します。

MR検査に用いる造影剤には大まかに種類あります。

■ ガドリニウム製剤



一般的なMR造影剤はこのお薬になります。

静脈から注射することで血流の豊富な部分をMR画像で白くするお薬で血管や臓器の様子病変の性質、腫瘍や炎症の有無を分かりやすくします。

お薬は一日以内にほとんどが尿と一緒に排泄されます。

このお薬を使った後は、お薬を体外へ出しやすくするためにいつもより多くの水分を取りましょう。また、検査当日にはアルコールを控えてください。

造影剤使用によってまれにかゆみ・吐き気・頭痛などが起きる可能性があります。

また勢い良く造影剤を注射する時にまれに血管外に漏れ痛みを伴う場合がありますが、いずれの場合もすぐに係の者にお知らせ下さい。

■ 肝特異性造影剤



主に肝臓の病気を詳しく調べる時にこのお薬を使う場合があります。

静脈から注射することで正常な肝臓の組織に取り込まれ、肝臓をMR画像で黒くするお薬で病変の有無、性質を分かりやすくします。

お薬の成分は体の中で代謝され、最終的には糞便と一緒に排泄されます。

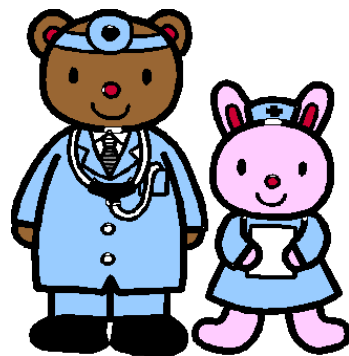
造影剤使用によってまれにかゆみ・ほてり・頭痛などが起きる可能性もあります。

また造影剤が血管外にもれた場合には色素沈着を起こす可能性があります。いずれの場合も違和感を感じた場合にはすぐにスタッフにお知らせ下さい。

■ 副作用について

造影剤を用いる際、また検査の間中、常に細心の注意を払い何らかの副作用が出現した場合には迅速に適切な処置を行います。

また、副作用は検査後一週間ほど経って出現する可能性もありますので、十分に注意頂き、何か異常を感じた場合にはすぐに御来院なさるか、当院にご相談頂くようお願い致します。



☺ 不明な点がありましたら、医師・看護師・技師にお気軽に声を掛けられてください。